

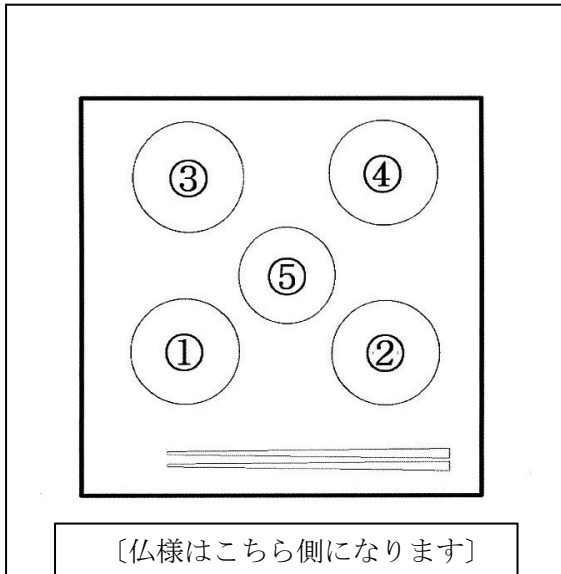
お盆の仏参りやお墓参りの折にお会い致しましたお檀家様の皆様には、今年もまた色々なお話や激励などいただきました。私も住職となってから2年目の夏を向かえ、各お家の方々にお会いするのが大変楽しみでございました。

さて、そのお参りの最中、よくお尋ねいただいた話題がございましたので、この場で詳しくご説明してみようと思います。

それは「お霊膳の並べ方」についてでございます。お盆だけではなくご法事等や、また来客時のお食事の作法としても役立つと思いますので参考にさせていただければと思います。

ご霊膳の食器は五つあり、箸側を位牌に向き合います。一般には食器は図のように並べ、盛り付けは次の通りです。

- ① 飯碗＝ご飯
- ② 汁椀＝味噌汁など汁物
- ③ 平椀＝野菜などの煮物
- ④ 腰高杯＝香の物・酢の物
- ⑤ お壺＝煮豆・和え物



なお、④と⑤の配置が逆になる並べ方もあります。

③④⑤についてはそれほど気に掛ける必要はありませんが、左に①ご飯、右に②汁物は間違えないようにして下さい。

また、お霊膳は毎日仏前に差し上げるものですが、現代社会の中でそれを行なうことは不可能に近いと思われまますので、ご法事等の仏事の際に用意していただければ結構です。ただ、その代わりと言ってはなんですが、お仏飯（ぶっぼん）だけはご飯を炊いた時に、まず最初の一杯目を仏様にお供えするよう心がけたいと思います。面倒くさいとは思いますが、そういった大人の行為を見て、子供達は食事をありがたく「いただく」ことを学ぶはずで。

言葉で躰をするのも大切ですが、このような「無言の躰」も大切だと思います。朝食にパンを食べるお家は、その日に最初にご飯を炊いた時で結構です（笑）。

是非、実践していただければと思います。

【普照院舞子墓地使用者の皆様へ】

これもお盆の墓参りの折に、「お墓にお塔婆を立てる何か良いものは無いか？」というご質問が多かったので石屋さんに問い合わせてみますと、パンフレットをいただきましたので使用者の皆様には同封させていただきます。必要な方は住職までご連絡下さい。

* 《住職よりのご連絡》 本年の盆施餓鬼法要（8月26日日本堂にて勤修）にて、昨年のお盆以降にお亡くなりになられた檀家様の新盆法要を施餓鬼法要と併せて執り行わせていただきました。今後は毎年、お盆の施餓鬼法要にてお申し込みの有無に関わらず、新仏様のお弔いを行わせていただきます。

本年は法要直前に勤修することを決めましたので、施主家にご連絡できませんでしたことをお詫び致します。今後とも宜しく願い申し上げます。

時宗宗祖一遍上人御忌法要（法話・踊り念仏）のご案内

期日： 9月16日（日） 午後1時より

場所： 時宗 真光寺（神戸市兵庫区松原通1丁目1）



今年も、上記の日程で時宗宗祖一遍上人の御忌法要が勤修され、時宗74代遊行上人がご賦算（お札配り）に来られます。私も参加いたしますので、ご興味のある方は是非ご参列下さい。真光寺への目印は市立須佐野中学校の裏手、もしくは清盛塚の向かい隣となります。

🐱 【ちょっと寄道…】

『猫も杓子も〔禰子も釈子も（ねこもしゃくしも）』

仏弟子を釈子（しゃくし）といいます。お釈迦さまの弟子、お釈迦さまの教えを受け継ぐ者という意味です。

神官の長を神主（かみぬし）といいます。その神主の下の位を禰宜（ねぎ）といいます。そして禰宜の子孫を禰子（ねこ）といいます。

「猫も杓子も」はもと「禰子も釈子も」であったといわれます。

つまり、お釈迦さまの弟子も、神様の弟子も、みんないっしょにということです。

日本では昔、宗教といえば仏教と神道の二系統でしたから、禰子と釈子で日本国民すべてとなります。これから転じて「どんなものも、みなすべて」の意味になったのです。

禰子の字が難しいためでしょうか、いつのまにか猫としゃもじに化けてしまったようです。

〔編集後記〕

最近ブーム？なののでしょうか、「大人の付録本」なるものが書店の店頭にならんでいるのをよく見かけます。毎週その本を買って付録を集めると、半年もすると巨大な舟が出来る…などなど。その中で、付録はついてないのですが、週刊「日本の仏像」講談社 580円（少し高いですね…）という本は、分かり易く仏像や仏教のことを解説してくれています。もしよろしければ購読してみてください。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田宗治

☎653-0861 神戸市長田区林山町17-1

TEL078 - 691 - 5688

ホームページ： <http://www.geocities.jp/husyohin2006/>